

Symphonict事業説明会

2023年12月4日

NECネットエスアイ株式会社

(銘柄略称:NESIC 証券コード:1973)

取締役執行役員常務 兼 チーフ・デジタル・オフィサー(CDO)

DXソリューション事業本部長

菊池 惣

自己紹介



菊池 惣

(きくち おさむ)

取締役執行役員常務 兼 CDO 兼 DXソリューション事業本部長

経 歴

- 1990年 当社入社。
局用交換機のソフトウェア開発を経て、
- 2015年 働き方改革関連事業を担当。
離れたオフィスを等身大でつなぐSmoothSpaceや、
Zoomの日本事業立上げに従事。
- 2019年 スタートアップとの協業強化に向け、米国駐在
- 2022年 旧ビジネスデザイン統括本部長に就任
- 2023年 現職

モットー(好きな諺)

If you want to go fast, go alone. If you want to go far, go together.

Symphonictで全社DX事業を牽引

Symphonictを起点に全社の事業を”つなぎ”DX事業を拡大
提案機会創出とリカーリングによるスパイラル型成長モデルの実現



Symphonictで目指す姿

目指すのは、“Nler・SlerからDXパートナーへの変革”

単なるシステムインテグレータから、
お客様にとって唯一無二の存在になること

ビジネスの成長性
競合他社との差別化
VUCA時代への対応

DXによる
イノベーション
の日常化

お客様・社会への貢献
新しいビジネスの創出
アジリティ強化

DX時代におけるお客様の課題（＝当社への期待）

✓ 迅速に最先端のDXを実現し、ビジネスモデルを変革したい

- ・データ分析やAIなど最新のテクノロジーを活用し、ビジネスモデルを変革、顧客体験を向上させ、市場での競争力を確立したい

✓ 将来の変化に対して無駄なく効果的にDXを推進したい

- ・ビジネスモデルを変革し続けるためにCAPEXとOPEXを最適化
- ・既存のシステムも上手く活用したい
- ・予測不能な将来の変化に対しても迅速かつ効果的なDXの実現を図りたい

✓ ネットワーク・セキュリティのより高度な運用と安全性を確保したい

- ・マルチクラウドの活用に対応して、高速、低遅延、快適にネットワークを利用
- ・ネットワークの安定運用およびセキュリティの脅威から情報を守りたい

DX時代に求められるサービスの考え方



新しい技術/製品が次々と創出されるDX時代
AIも“あたりまえ”に



企業の大きさを問わず、
新しい技術/サービス、お客様の既存環境を、
迅速、手軽に“つなぐ”仕組み
が求められる

Symphonictとは（コンセプト）



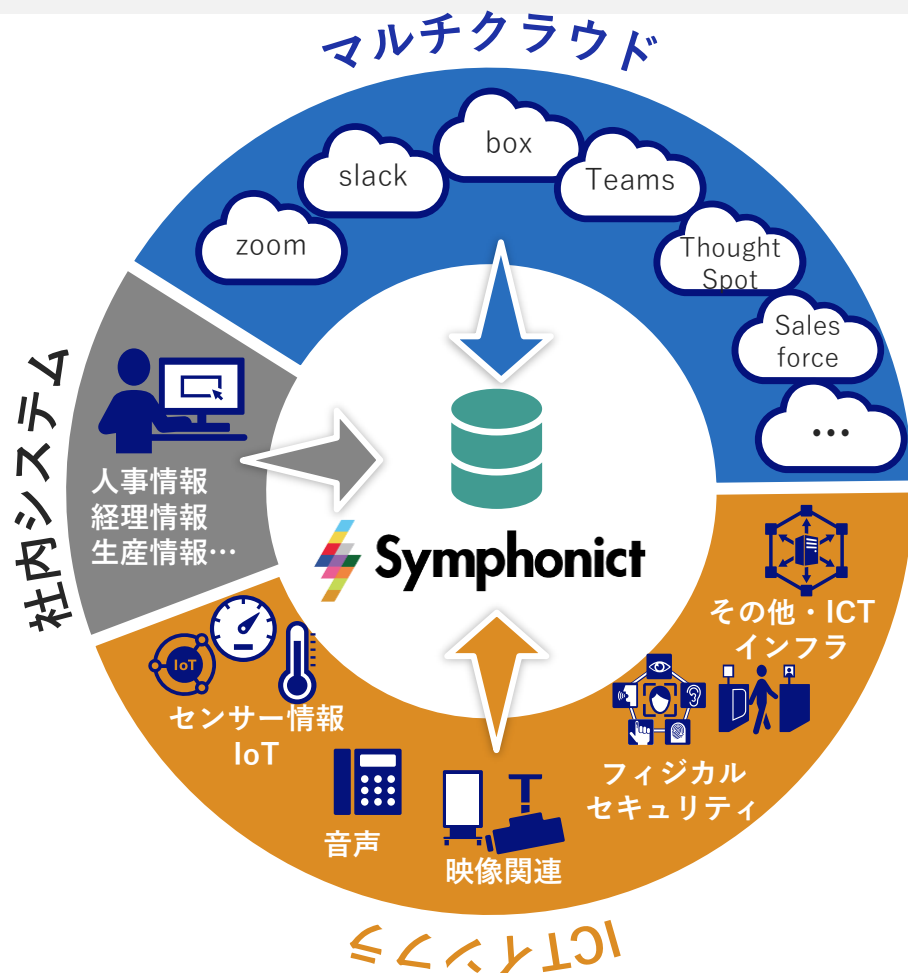
自社実践のノウハウをもとに
お客様の経営課題解決をサポートする
DXサービス

サービス/機能や既存事業などを“つなぐ”ことで

- ・ 短期間、小規模から、迅速に導入可能
- ・ お客様の現状に合わせて柔軟に対応可能

Symphonictが“つなぐ”もの

マルチクラウド×ICTインフラ×社内システムを迅速、手軽に“つなぐ”



マルチクラウド (API)

デファクトスタンダードのクラウドサービス

ICTインフラ (ネットワーク)

カメラ、センサー、端末など既設のICT設備

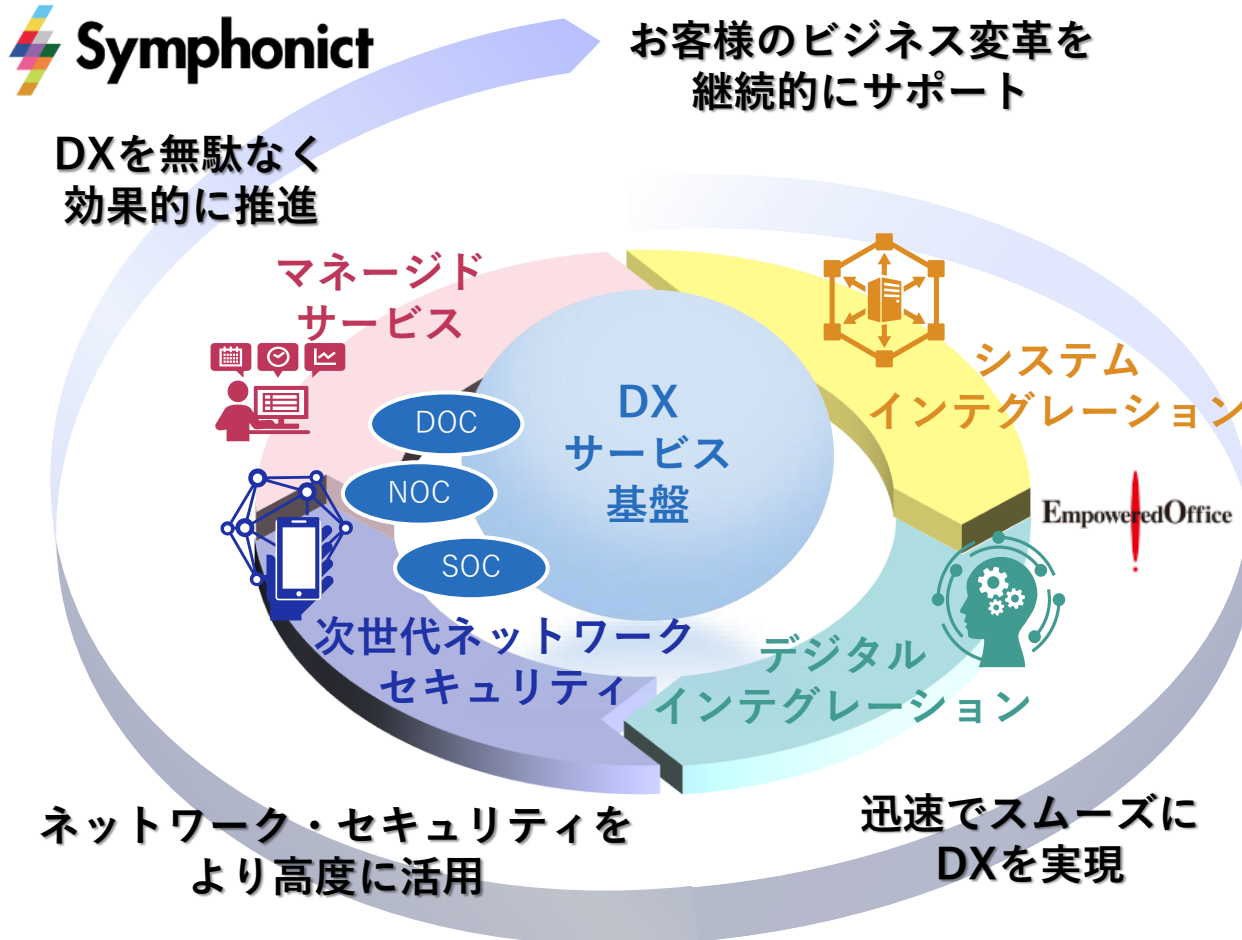
社内システム (データ)

人事、経理、受発注など社内の既存システム

API : Application Programming Interface

Symphonictが提供するDXサービス

お客様のDX化を推進するインテグレーションサービスです
お客様はDXを「素早く構築・安全に導入・無駄なく運用」できます



システムインテグレーション

ICTインフラ、フィジカルセキュリティ等のSIサービス

デジタルインテグレーション

クラウド×AI×データなどデジタル導入のSIサービス

次世代ネットワーク・セキュリティ

クラウド活用に対応したセキュアなネットワークSIサービス

マネージドサービス

お客様のDXを支援するデジタルBPOサービス

Symphonictのサービスメニュー

自社実践で検証したサービス/機能の組み合わせとインテグレーションサービスで
お客様は迅速、手軽にDXを導入

お客様の期待

迅速に最先端のDXを実現し、
ビジネス変革をしたい

無駄なく効果的にDXを導入し、
投資費用の最適化も図りたい

ネットワーク/セキュリティを
安定の品質で安心して利用したい



Symphonict

実践サービス群(例)

働き方DX

働き方・生産性
可視化

プロセス自動化

経営・営業情報
AI分析・予測

⋮

運用DX

クラウド
利用状況可視化

セキュリティ
可視化

NaaS

⋮

構成機能群



経営
ダッシュボード



デジタル
ツイン

DXサービス基盤



データ
連携・蓄積



AI分析・予測
AI音声・画像解析



認証・その他
独自機能

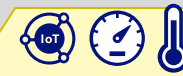
zoom slack box Teams Thought Spot Sales force ...

ネットワーク・セキュリティ

DOC

NOC

SOC



センサー情報
IoT



音声



映像関連



フィジカル
セキュリティ



その他・ICT
インフラ

Symphonictの狙い・役割（リカーリング化）

プロジェクト型の既存事業にDXサービスを組合せたハイブリッド型事業
あらゆるフェーズから柔軟にアプローチ。 ⇒リカーリング化を加速



Symphonictの狙い・役割（当社にもたらす効果）

リカーリングモデルへ変革し、付加価値を高め、安定かつ高収益へ

収益機会の拡大

プロジェクト型＋サービス型
ハイブリッドで事業展開し
提案機会を拡大

既存事業にデジタルを組合せ提案
お客様に伴走して改善提案



顧客単価向上

顧客提案機会創出

効率化／迅速化

全社の個別サービスを共通化
お客様への提供スピードUP

全社で標準化しノウハウを共有
人的資源の有効活用と適正配置



開発効率／提供スピード向上

安全・品質向上

DX化の加速

あらゆるデータをつなぎ
自社を高度化／
お客様に実践成果を拡販

社内ICTシステムをクラウド化／
データ連携による高度化



モダナイゼーション

DXサービス拡充

他社との差異化要素

1. 現場からクラウドまで一気通貫で提供するDXサービス

実践に裏付けされたサービス、お客様のオンサイト環境を熟知した無駄のない最適なDX導入

2. 柔軟性、身軽さ(常に最先端かつ最適なクラウドサービスを採用)

特定の商材・ベンダーに依存しない身軽さ、北米等ベンチャー発掘体制によるDXサービスの品揃え

3. 迅速性(お客様がご利用中のクラウドサービスも接続可能)

お客様の環境を最大限を活用したスモールスタートも可能

4. セキュア(お客様の情報は当社DCで管理可能)

DC：データセンター (SiDC、EOSC)

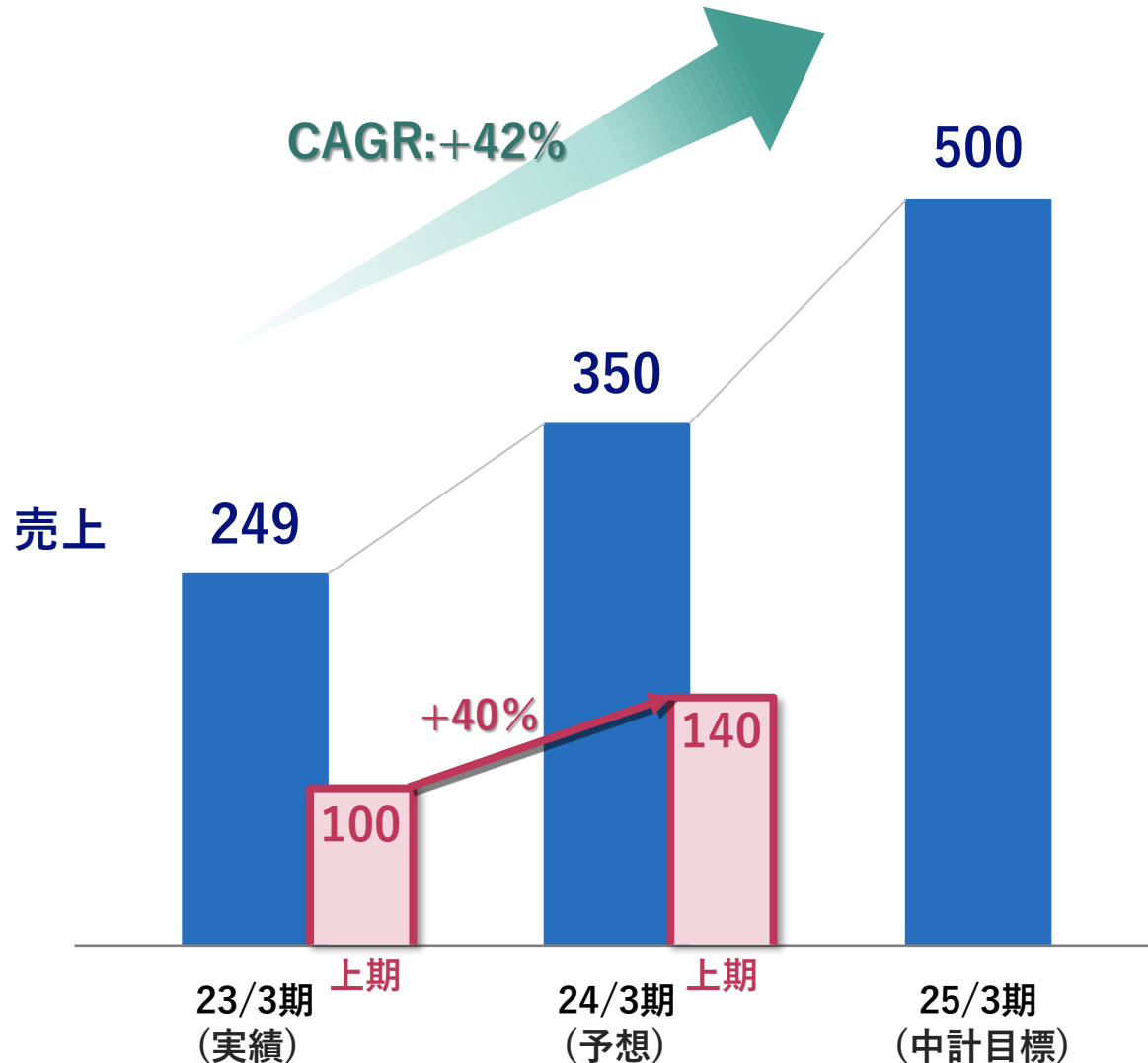
豊富なSIノウハウを活用し、パブリックとプライベートのハイブリッド環境をインテグレーション



自社実践とブランド(働き方改革)、幅広い業種/大規模SI力、DX/ネットワーク人材

Symphonict事業KPI (DXソリューション事業 強化成長領域売上高)

(単位：億円)



Symphonictをテコに既存事業を変革 KPIとして高付加価値の強化成長領域に注力

※強化成長領域：働き方DX、次世代ネットワーク・セキュリティ、自治体DX、データ分析／利活用、デジタルツイン

- ・ 既存事業 + 高付加価値サービス
 - ※Not 基盤売り
- ・ お客様とリカーリングな関係を構築

※Symphonictは全社DX事業の牽引役ですが、
現中期経営計画では、まずはDXソリューション事業における
強化成長領域の売上高をSymphonictのKPIとしています

\Orchestrating a brighter world

NEC

NECネットエスアイ